



大分県災害派遣福祉チーム ディ キャット (大分DCAT)に参加



大分県災害派遣福祉チーム（大分DCAT）の協定締結式が大分県庁にてあり、大分県知事と協定を結びました。

大分DCATは、長期化する避難所生活で高齢者や障がい者などを支援する福祉の専門チームです。当法人から社会福祉士や介護福祉士、看護師など8名のスタッフが登録しました。近年、国内で自然災害が多発する中、避難所で配慮が必要な方々を安心して過ごせるサポートができるよう、みのり村として支援して参ります。

(12月17日)

経営理念

Management
Philosophy

私たちはみのりの精神である慈愛・奉仕・研究を基本精神とし
地域・社会より愛され、認められる法人をめざし
社会福祉事業の担い手として、地域・社会へ貢献します。

花のように 優しく 誠実に

みのり

No. 98

発行日

平成31年3月11日

発行者

社会福祉法人 みのり村

印刷

株式会社 クリエイト

掲載内容

- 1 大分県災害派遣福祉チーム（大分DCAT）に参加
- 2 祈願式並びに年始
- 3 代表者決意表明
- 4 グループホーム落成式
社会貢献活動事例集
- 5 施設訪問 月刊セーノ取
材 みのり村特産品紹介
- 6 フィリピン海外研修
- 7 その他の研修・勉強会
- 8 障がい者アート活動
- 9 地域交流
介護って素晴らしいフォト
コンテスト
- 10 大分県高齢者福祉施設等
実践研究大会
- 11 創立記念日並びに永年勤
続者表彰
- 12 福利厚生他

えむほガーデン・花壇

祈願式並びに年始『改元の年』



理事長年頭挨拶



役職員一堂による新年祈願

みのり村正法寺にて、今年一年の村の安全を祈る「新年祈願式」を、役職員が一堂に会し執り行いました。

続いて、本部（菩提樹）ホールにて全職員参加による年始を開催し、各拠点部門（日出障がい・杵築障がい、高齢者福祉部）から代表として3名のスタッフが本年の決意表明を行いました。

大木理事長より、「今年は改元の年のステージに変わる節目の年にあたります。この節目の年は、日本の福祉にとつて大きな変化になると思います。みのり村もこの変化に合わせて変わらなといけません。最先端技術（業務省力化システムや人口知能（AI））の導入や外国人労働者の雇用などに取組み、変化から取り残されないよう努力し対応していく必要があります。また社会福祉法人には、地域貢献やガバナンスの強化、地域・社会における公益的な取り組みが求められています。平成31年のこの改元の年を、健康には十分に留意して、職員全員で助け合い一致団結して業務に邁進していきましよう。」と年頭の訓示がありました。

（1月3日）

みのり村『村歌』のご紹介

みのりの精神

作詞 大本 英正
作曲 平井 宇佐美

一 香りも高く 清らかな
精神の文化を ひたすらに
真理を求め 我等の精進
真理を求め 我等の精進

二 はらからともに 手をとりて
うるわしの世を 作りなん
祖国へささぐ 我等の祈り
祖国へささぐ 我等の祈り

三 この道はるかに 遠くとも
みのりの心 ひとすじに
光を仰ぐ 我等の理想
光を仰ぐ 我等の理想

みのりの子

一 みどりのお山と 青い海
赤いお屋根に 広い庭
お花もいっぱい 咲いている
楽しいおうち みのり学園

二 仲良しこよしで 手をつなぎ
三つのちかいを よく守る
素直な良い子で はげみます
楽しいおうち みのり学園

決意表明

障害児入所施設 第1みのり学園

支援員 坂本 哲也



大分県では昨年、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭が開催され、140万人がこのイベントを堪能しました。老若男女、障がいのある方もない方も、誰もが参加し楽しむことができる大会、芸術文化の新しい出会いや発見のある大会、大会を通じて地域が元氣になり、多くの人材が育っていくことがテーマとされていきました。みのり村においても第14回みのり村作品展が、大分市アートプラザと日出町交流ひろば「Ora」(ひかり)にて開催されています。

平成30年度から始まった、国の第5期障害福祉計画に係る基本方針の見直しでは、「地域における生活の維持及び継続の推進」、「地域共生社会の実現に向けた取組み」が、主な見直しポイントの中に明記されています。

みのり村は、在宅支援部門を核に地域包括ケアの拠点として、地域に根ざした総合福祉ケアサポートセンターへと発展を遂げています。日出障がい福祉部でも、地域のお祭り、文化祭、スポーツ大会、交流行事、敬老会などに積極的に参加し、様々な形で地域社会と触れ合う機会を創っています。お互いが共通の時間、場所に存在し、相互に触れ合うことで、理解が進み、共生社会の土壌へと繋がるのではないのでしょうか。

みのり村経営理念の中に、「地域・社会より愛され、認められる法人をめざし社会福祉事業の担い手として、地域・社会へ貢献します」と謳われています。平成31年は、時代の転換期となり、新しい時代が幕を開けます。私は、みのり村が継承してきた精神を大切に、初心を思い返し、サービスを利用される方の利益・価値を常に意識して、日々精進しながら支援に取組み、地域・社会への貢献に繋げたいと考えます。

決意表明

障害者支援施設 白萩園
看護師 永松 いずみ



昨年、永年勤続者表彰で10年表彰を頂き、あつと言う間の10年を感じました。

振り返ってみますと日々変化する社会情勢や福祉政策に取組む中で、昨年には障がい者施設では初の試みで、介護ロボット「パルロ」や「パロ」を導入致しました。現段階ではご利用者の癒しや介護予防、スタッフ業務負担への軽減にもつながり、長期活用で効果が期待できるのではないかと感じております。このような様々な変化に伴い病院医療とは違った福祉医療の現場で高度な知識、介護技術、指導力や職員間の連携の重要性、健康管理の難しさを身をもって痛感致しました。

その中でご利用者の挨拶、笑顔に勇気づけられ、入所者の方に対して基本である「安心、安全で充実した生活の支援」に新たな気持ちで取り組む所存であります。

高齢化している障がい者施設白萩園の医療的サポート者としてご利用者、ご家族、支援スタッフが三位一体となり、今後はますます他職種との連携が必要となります。私たちスタッフは研鑽を積んだスキルや次の時代を担う人たちに伝える力を身につけ、更なる充実を図り、障がい者の地域福祉の核として邁進できるよう微力ながら精一杯努力していききたいと思います。

決意表明

特別養護老人ホーム菩提樹
ケアワーカー 富山 純映



私は数年前リーダーになり、色々な会議や研修の中で発言したり、新しいことを勉強したり多くのことを学ぶことができました。

直近では、ノーリフティングケア(介護する側・される側の双方に、抱えあげない。持ち上げない。引きずらないケア)の研修に参加しました。これは、介護者だけではなく、ご利用者に「緊張や苦痛を与えない」「変形や拘縮の予防改善」などのメリットがあります。更に、職員の負担が減れば、ご利用者と笑顔で関われる時間が増え、「離職率の低下」に繋がることが期待されます。定着する為には、「職員の意識改革や技術習得、環境整備」など、課題が山積みです。

また、昨今国会では外国人労働者受入れが議論され、介護業界の人手不足が報道されています。私達も、この問題に目をそむけられないと感じています。

前に「顧客満足度をあげる」研修の講師が「職員の満足がないところに、顧客の満足はありません。笑顔のないスタッフのもとで顧客の満足はないからです」というお話がとても印象的でした。

私達は、ご利用者に満足して頂けるサービスを提供する為に、日々努力をしています。そして「ぜひ、菩提樹に入りたい」「菩提樹に来て良かった」と思ってもらえる施設づくりをしたいです。その為には、職員一人一人が笑顔で働ける環境づくり、すなわち「業務の効率化」や「ノーリフティングケアの導入」が急務の課題となっています。更に、菩提樹全体がチームワークをもって、ご利用者の為に一丸となり支援ができることは、働く私達の大きな喜びとなります。介護職に携わる多くの人から、「ぜひ、菩提樹で働きたい」と言われるような、魅力ある施設を目指し努力をして参ります。

「明るく・暖かい」住まい 障がい者グループホーム『Dream』完成

ドリーム

日出町大神にグループホーム「Dream」が完成し、新築落成式を、関係スタッフが参加し執り行いました。

「Dream」は豊かな自然に囲まれ建物の南側からの日当たりが良く、屋内には「明るく」「暖かい」空間が広がっています。リビングやベランダからの眺望も良く、四季の移ろいを楽しむことができます。建物には、スプリンクラーや太陽光発電、シャワールームなどを備え、ご利用者が安心して快適に過ごせるようになっています。

「Dream」は、みのり村グループホームとしては5棟目になり、今後10名の方が入居する予定です。

(1月21日)

建 物 概 要
日出町大神
木造2階建て
延床面積243.86㎡
定員10名
スプリンクラー 非常火災通報装置 太陽光発電 他



新築で楽しい生活を
女性専用の障害者
グループホーム完成
杵築市日野の障害者支援施設「白百合園」(大木隆理理事長)に女性専用グループホーム「Dream」(ドリーム)が完成した。同施設の開設55周年記念事業の一環で、主に知的障害がある就労者らが利用する。定員は10人で朝食時から夕食時まで、掃除や食事などを担当する世話人を配置。2階建てで、木材を基調とした温かみのある内装にした。
21日、同所で落成式があり、職員ら約30人が出席。安全祈願の後、大木理事長が「名前の通り、入居者は夢を持つて明るく楽しい生活を送ってほしい。今後必要に合わせてグループホームを増やしていきたい」と話した。
利用者はほとんど近まっ
ており、3月ごろ入居する予定。問い合わせは白百合園(☎0978・62・2274・6)。

平成31年1月22日
大分合同新聞朝刊に掲載



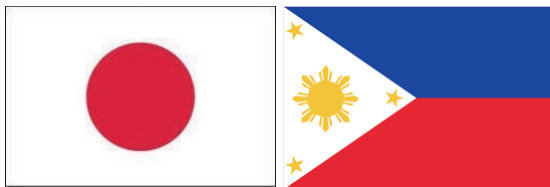
グループホームDream 外観



“社会福祉法人の
社会貢献活動事例集 vol.3”に
紹介されました
(障がい者支援施設
白百合園)



一生懸命さが伝わってくる 日本語学校を視察して



10月4日～10月6日の3日間、フィリピン日本語学校を視察させて頂きました。視察理由は、今後介護業界では深刻な人手不足が予想され、外国人がその担い手として期待されているからです。

夜、マニラ空港に降り立つと週末でもありテレビで見る賑やかな光景を見ながらホテルに到着。翌日、フィリピン日本語学校を視察しました。玄関を開けるとすぐ教室で、20名ほどの若い男女が真剣な眼差しで日本語を習っている。た。その姿からは「日本語を覚えたい」という「一生懸命さ」が伝わってきました。

しかしながら日本語能力は個々に差があるものの、いざ日本の介護施設に就職となると、生活環境の違いや介護の知識不足等で不安になるのではないかと心配しています。彼らが日本で安心して働くには、働く職場でのしつかりした生活指導・技能実習



日本語学校の様子

安全・安心な福祉施設へ ～「さすまた」を使い、不審者侵入時の対応訓練～



木刀を持った不審者が侵入

不審者が特別養護老人ホーム菩提樹に侵入したとの想定で、不審者侵入防犯訓練を杵築日出警察署の指導のもと実施しました。

木刀を持った不審者を、スタッフ3名が「さすまた」を使用し実技訓練を行いました。講習には約20名のスタッフが参加し、真剣な面持ちで不審者への対応方法、さすまたの使い方、110番非常通報装置の使用方法等を確認しました。今後も防犯意識を高めていきます。
(11月21日)



さすまたを使用した訓練



日出障がい福祉部でも同様の訓練を実施
(11月15日)



現地の実習生と記念写真

指導などのサポートが必要になると思います。
介護といった「人が人のお世話をする仕事」には国籍や言語の違いは関係なく、「優しい気持ち」や「愛情ある心」があればやっていけると思います。
技能実習生が長く働けることを願って帰国の途につきました。

(安部)



働くスタッフの「心の健康」のために ～メンタルヘルスケア研修会を実施～

スタッフの健康増進を図ることを目的として「メンタルヘルスと健康管理」に関する研修会を、活力職場研究所の高波講師をお招きし、実施しました。

研修会では、セルフケア（自分自身で行うことができるケア）やラインケア（管理監督者が行うケア）について学びました。
(12月14日・1月25日)



30名のスタッフが聴講

普通救命講習会を実施！



心肺蘇生法を学ぶ様子

消防署の方を講師としてお招きし、救命処置（心肺蘇生法、AEDを用いた除細動）と、気道異物除去や止血法などの応急手当を11名のスタッフが学びました。

緊急時に備え、このような訓練を今後も定期的実施して参ります。

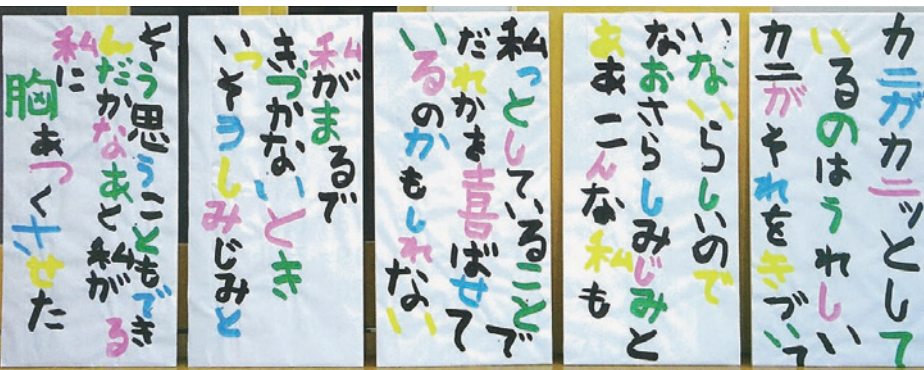
(9月28日)

大分大茶会 きつき障がい者芸術文化展 ～ひとり一人の花を咲かせよう～ に出展 (平成30年10月31日～11月5日)



杵築市立図書館に68点の作品を展示

第18回全国障がい者芸術・文化祭おいた大会が開催され、杵築市立図書館にご利用者のクラブ活動作品（陶芸や書道、機織りなど）を展示しました。期間中約700名と多くの皆さまにご来場頂きありがとうございました。この経験はご利用者、スタッフ共により刺激となり、貴重な体験となりました。



「カ ニ」



地域交流



杵築障がい福祉部 体育祭(10月20日)



日出障がい福祉部 体育祭(10月20日)



高齢者福祉部 大運動会(10月29日)

平成30年10月の爽やかな秋晴れの中、第66回みのり村ふれあい体育祭を日出障がい福祉部、杵築障がい福祉部、高齢者福祉部の各施設で開催しました。各会場では様々な競技が行われ、声援や拍手、たくさん笑い声が響き渡りました。

第66回 秋の二大イベント!! みのり村ふれあい体育祭開催!!



櫓を囲んで

今年で37回目を迎えた「みのり村供養盆踊り」を開催し、法人内の事業所及び近隣地区の20名の精霊を参加者全員で慰め、ご供養させて頂きました。満月の下でご利用者やご家族、地域の皆さまなど約500名が大きな円をつくり、涼風を感じながら、三つ拍子や六調子を楽しげに踊りました。地域の有志の方々や子どもたちによる太鼓や口説きのお手伝いを頂き、本当にありがとうございました。

(8月25日)

第37回 みのり村の供養盆踊り



障がい者アート活動



テーマ「扉をひらいて下さい～心の声を届けたい～」



第14回 みのり村作品展

～たくさんの方々にご来場いただき、
ありがとうございました～

大分市アートプラザでの開催

第15回みのり村作品展は、11月20日～24日の5日間、
大分市のアートプラザで開催いたします。



大分合同新聞
(1月17日朝刊)

絵画や書道、紙工作：
杵築市「みのり村」
利用者の作品展
杵築市内の社会福祉法人
「みのり村」が運営する障
害者、高齢者福祉施設の利
用者による作品展が16日、
日出町日出の交流ひろばH
じエナ（個性豊かな作品が
並ぶ。
クラブ活動やレクリエー
ションの制作物の発表の場
として毎年開いており、14
回目。「思いのこもった作
品を楽しんで」と同法人
午前10時～午後6時（最
終日は同4時。問い合わせ
はみのり村 ☎0978
・62・2276）。

ハ坂小学校の児童クラブ 「たけのミクラブ」ど

福祉交流会!!

特別養護老人ホーム菩提
樹にて福祉交流会を行いま
した。元氣一杯の小学生と
そのご家族、みのり村障害
者グループホームのご利用
者が一緒に玉入れゲームを
行い、交流を図りました。
高齢者へボールを手渡す
小学生のやさしい姿に、周
りの皆さんは温かい気持ち
になり、会場はほっこりと
した雰囲気になりました。

(11月10日)



ピース

「よいしょ、よいしょ」 地域交流 餅つき大会!!

ワークセンター「誠」いち押し
工房にて、年末恒例の「地域交流
餅つき大会」を地域の老人クラブ
をはじめ、たくさんの方のご協
力を頂き開催しました。参加者全
員で「よいしょ、よいしょ」と賑
やかに餅をつき、新年を迎える
準備ができました。

(12月27日)



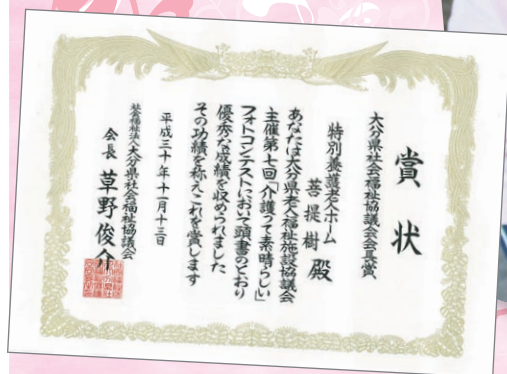
ご協力ありがとうございました



第7回「介護って素晴らしい」フォトコンテスト ～大分県社会福祉協議会 会長賞を受賞～



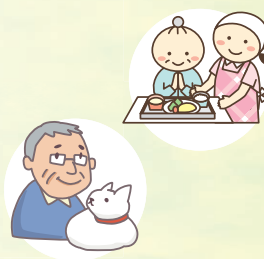
「小さい秋見つけた」



平成30年度 大分県高齢者福祉施設等実践研究大会 (レムブランドホテル大分) ～高齢者福祉部から2チームが参加～



大分県老人福祉施設協議会
会長として挨拶する理事長



(11月13日)

高齢者福祉施設等実践研究大会が開催され、特別養護老人ホーム菩提樹の梅林・長友チームは「おいしく楽しく食事をしよう」ぼだいじゅヘルパーステーション高橋・原田チームは「猫のみたいちゃんと一緒に暮らしたい」のテーマで発表しました。



ヘルパーステーション「高橋・原田チーム」



分科会で発表する「梅林・長友チーム」



第67回みのり村創立記念日 並びに永年勤続者表彰

創立記念日に勤続

10年表彰11名、20年

表彰3名、40年表彰

3名の合計17名が、

永年勤続表彰を受け

ました。大木理事長

から表彰者の方々へ

表彰状と記念品が贈

られました。

職員を代表して勤

続40年表彰の白萩園

施設長 河野節二さ

んより謝辞がありま

した。

(12月7日)



代表者謝辞



17名の表彰者の皆様

	勤続	氏 名	所 属
60歳未満	40年	河野 節二	白 萩 園
		二宮 恵	菩 提 樹
	20年	清原 亜紀	白 萩 園
	10年	武田ゆかり	第2みのり学園
		森崎 浩紀	
		大木昌太郎	第1みのり学園
		永松いずみ	白 萩 園
		後藤 晴美	
		柳 順子	菩 提 樹
		下地 智子	
		森松 真央	
加藤 祐一			
末次 恵美	「風と樹々と空と」		
60歳以上	40年	桑野 真弓	第2みのり学園
	20年	原田 順子	白 萩 園
		上杉 久代	
	10年	堀 静江	白 百 合 園

永年勤続表彰受賞者謝辞

私ども17名の永年勤続受賞者を代表して、ひと言お礼を申し上げます。本日、みのり村創立記念式にあたり、このように厳肅な形で表彰を受けましたことをとても光栄に感じております。

思えば、40年という長い年月、働けることができたのは、名誉理事長先生、大木浜子先生の「深い愛情」。それを継承し、更に研鑽を重ねる現大木理事長先生の「リーダーシップ」。そして不安を感じる時に「心の支え」となった、職場の先輩を始めとする皆様方のお陰だと、心から感謝致しております。

この長きに、私達は仕事を通して色んな経験をさせて頂き、学んできました。単に職員としてではなく、なにも分からないところから、本当に辛抱強く「人として」育てて貰えたとしみじみ感じます。

この表彰を機に、改めて新鮮な気持ちで仕事に向き合いそして、みのり村で働く、沢山の素晴らしい後輩の方々に、私達が培った知識、技術、経験を伝えて参りたいと思います。

今後とも、皆様方の尚一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、授賞者を代表しての御礼のご挨拶とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

平成30年12月7日 創立記念日

障害者支援施設 白萩園 河野 節二

総合福祉ケアサポートセンター みのり村

- 特別養護老人ホーム 菩提樹(個室ユニット)
- ショートステイ事業
- 菩提樹デイ「風と樹々と空と」
- ケアプランセンター ぼだいじゅ
- ホームヘルパーステーション ぼだいじゅ
- 配食サービス
- 在宅介護支援センター ぼだいじゅ
- えむほ ガーデン(Café m・歩っ・えん)
- 障がい児入所施設 第1みのり学園
- 児童発達支援センター「プリンちゃん」
- 障がい者支援施設 第2みのり学園
- 障がい者支援施設 白百合園
- みのりスマイル(就労)
- 総合相談支援 M・プラザ HIJ I
- 障がい者支援施設 白萩園
- ワークセンター「誠」(就労)
- みのり村 いち押し工房
- グループホーム みのり村
- 総合相談支援 M・プラザ KITUKI
- みのり村介護・福祉タクシー
- 菩提樹まちかど交流サロン「福ろう」
- 認知症カフェ ふくろう茶屋

**障がい児から就労、そして
老後までの安心トータルサポート**

編集後記

2019年も気が付けば3月に入り、平成ももうすぐ終わります。5月からの元号はどうなるのでしょうか。

元号の制度は中国から東アジアに広まったものらしく、今も元号がある国は世界でも日本だけのようです。元号には『平和な時代になるように』との祈りが込められています。これから東京オリンピックや大阪万博を控えているなか、平和で明るい時代になることを願うばかりです。

(広報担当)



編集・発行／本部人事企画課

〒873-0013
大分県杵築市大字日野1921の7
TEL 0978-66-1200
FAX 0978-62-2974
URL <http://www.minorimura.or.jp/>
メール info@minorimura.or.jp

※写真掲載等には、
ご本人の了解を得ております。



仕事と子育ての両立を応援!!

森崎末紗希さん

息子の成長を日々傍で感じることができ、
嬉しく思っています。



おんくん(男の子)
8月30日生まれ



大谷麻莉子さん

初めての子育てはとても
大変ですが、充実した
日々を送っています。
毎日の息子の成長を
楽しみに頑張りたいと
思います。



はると
悠斗くん(男の子) 9月8日生まれ



工藤 美穂さん

毎日癒しをありがとう。
誰からも愛される
心の優しい女の子に
育って下さい。



なぎさ
風祥ちゃん(女の子)
9月23日生まれ



～4名の受講生が修了しました。～

初任者研修
介護職員
閉講

10月18日
みのり村ミニバレー
同好会発足!!
～現在メンバーは39名～



いい汗を流しましょう!!

「狩宿里海・里山プロジェクト」
の代表神鳥一様から
“海藻柚子”を
頂きました。
ありがとうございました。

